

『表現方法』（4月15日配信）

下の子は、もうすぐ2歳です。手話表現も少しずつ出ています。その中のいくつかをご紹介します。

成長に合わせてできることが変化します。例えば、写真のピースサインも2歳になる下の子は、親指、薬指、小指をくっつけることが難しくこのようになってしまいます。手話表現も同様です。下の子が表現したままをやってみますので、何の手話か考えてみてください。まずは、このグーで胸をたたくしぐさです。何の手話かわかりますか？正解は構わないです。小指だけを立てることも、顎にあてる高さも難しいためこのような表現になります。

続いて、五指で顎を触るこの表現は何でしょうか？これはわかりやすいですね。ほしいです。親指と人差し指の二指での表現が難しいためこのようになります。他にはこのような表現です。なんだと思いますか？これはトナカイです。これは、そうです。痛いです。他にもオムツはこのように表現します。たまたま今朝、時間がなくバタバタと着替えをさせると、このような表現をします。初めての表現でわかりません。するとオムツの表現をしました。つまりウンチを伝えたかったようです。実際は、ウンチをしていませんでしたが寝起きのパンパンのオムツを交換せず着替えたことが嫌だと伝えたかったようです。そんなことがありました。